

1. 適用範囲および適用品名

本要領書は、PLW-14シリーズコネクタの結線作業方法について推奨する。

アッセンブリメーカーで確立した方法がある場合はこの限りではない。

2. 必要工具

スケール、はんだ付け工具一式、線剥き工具一式

3. ケーブル端末処理

ケーブル端末処理のシース及び絶縁体の剥き寸法は図1を目安としナイフ等任意の方法で剥く。レセプタクル等バラ線使用の場合は、(※)寸法を目安とする。

(注) 芯線や絶縁体に傷を付けないこと。

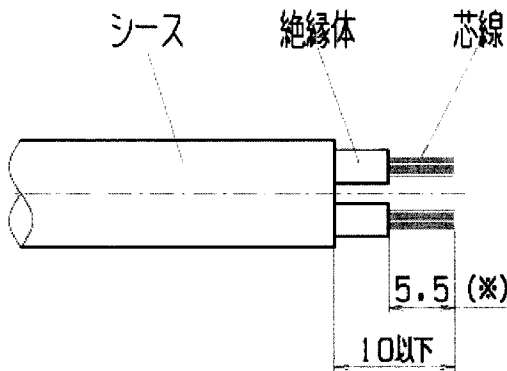


図1 ケーブル端末処理寸法

NANABOSHI PDF DATA

御 参 考 用

ご注意：記載内容については、製品向上のため予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

4. コネクタの分解

4-1. プラグの分解

- ① エンドベルを回転（左に回す）させ、プラグインシュレータ部組とカップリングナットを外す。
- ② クランプナットを回転（左に回す）させ、エンドベルより外す。
- ③ エンドベルからケーブルクランプを取り出す。

(注) 分解後、パッキン類やその他の部品などに大きな傷や割れが無いことを確認する。

(注) 個々の部品を紛失しないように注意すること。
(ケーブルパッキンは出荷時に組み込まれていません)

変更記事	記号	日付	内 容	承認	査 閲	作成	承認	調 査	起 草
△	'15.12.9	レセプタクルの追加		三三三	岡崎	小林	三三三	岡崎	小林
							2015.5.29	15.5.28	15.5.28

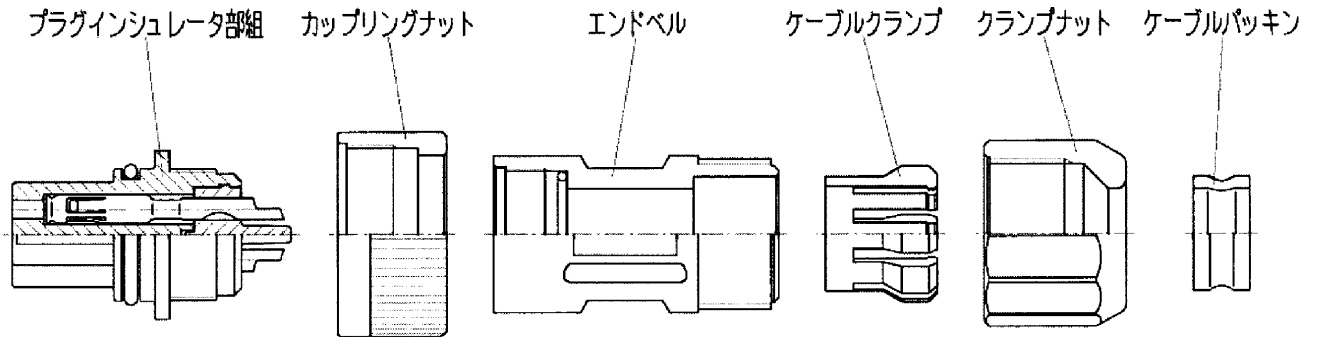


図2 プラグ分解

4-2. アダプタの分解

- ① エンドベルを回転（左に回す）させ、アダプタインシュレータ部組を外す。
- ② クランプナットを回転（左に回す）させ、エンドベルより外す。
- ③ エンドベルからケーブルクランプを取り出す。

（注）分解後、パッキン類やその他の部品などに大きな傷や割れが無いことを確認する。

（注）個々の部品を紛失しないように注意すること。
（ケーブルパッキンは出荷時に組み込まれていません）

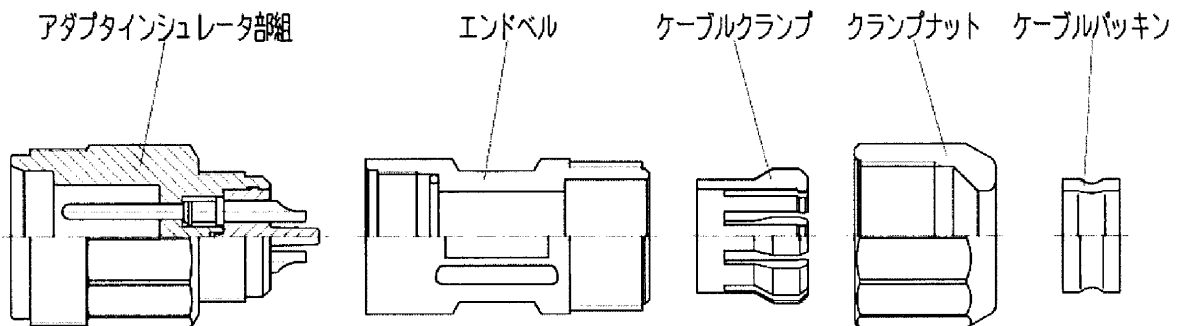


図3 アダプタ分解

⚠ 4-3. レセプタクル

レセプタクルは分解せず、そのまま結線する。

5. 予備装着

分解した各部品を図4の順に、あらかじめケーブルに通しておく。
（図4は、プラグの場合の時で、アダプタの場合はカップリングナットはありません）

（注）この時、各部品の順番や向きを間違えないこと。
（ケーブルパッキンには向きはありません）

NANABOSHI PDF DATA

御 参 考 用

ご注意：記載内容については、製品向上のため
予告なく変更することがありますので
ご了承下さい。

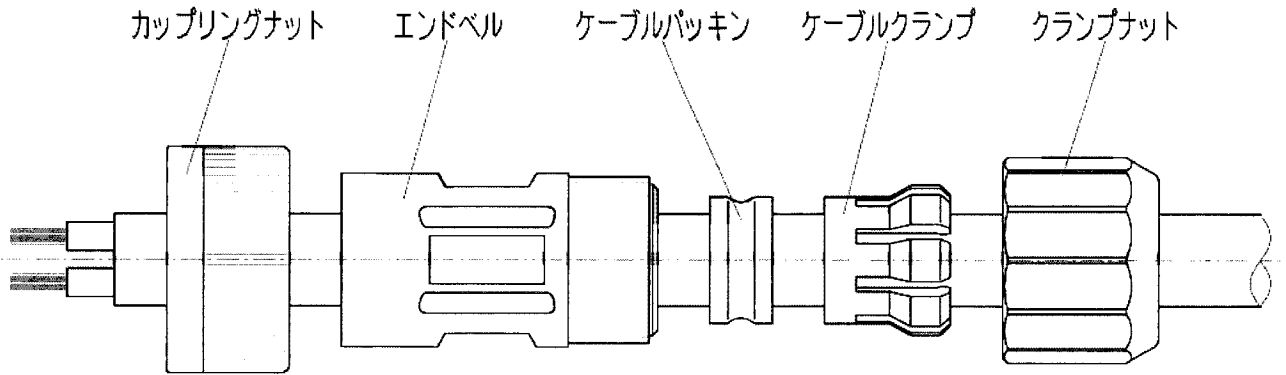


図4 プラグ予備装着

NANABOSHI PDF DATA

御 参 考 用

6. はんだ付け作業

- ① コンタクトのソルダーポットに、予備はんだを施したケーブルの導体を奥いっぱい差し込み、はんだごてをソルダーポットと導体の両方に当たるように押し付け加熱する。
- ② 導体とはんだごての接触部にはんだを当て、はんだを溶かしながらソルダーポットと導体の隙間が完全に埋まるまで流し込む。

(注1) 使用するはんだごて先温度は、表1を目安に作業をして下さい。
 はんだ付け作業は15秒以下で行い、連続的な加熱は避けて下さい。
 (注2) はんだ付け時には、はんだごて先をプラスチック部分に接触させないで下さい。

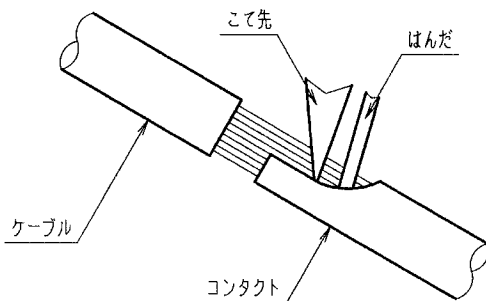


図5 はんだの供給

こて先で加熱しながら、
はんだを溶かし供給する。

ご注意：記載内容については、製品向上のため
予告なく変更することがありますので
ご了承下さい。

(注) はんだの盛り過ぎによるはみ出し、過熱、フラックスの流れなどによる
絶縁体の劣化や、耐電圧不良が発生しないようにすること。

- ③ はんだ付け完了後1分以上放置し、エタノールなどではんだ付け部を洗浄し、
フラックスを完全に除去する

表1 導体断面積とはんだごて

はんだごて ワット数	こて先温度 (°C)	導体断面積 (mm ²)	
		0.5	0.75
10W	280~300	○	○

○:使用可能ワット数

(注) 鉛フリーはんだ使用時のこて先温度は、上記温度+20°Cを目安にすること
 (例) Sn96.5、Ag3、Cu0.5(wt%)の鉛フリーはんだの場合

7. コネクタの組立

(注) 組立前に、パッキン類やその他の部品などに大きな傷や割れが無いことを確認すること。

7-1. プラグの組立

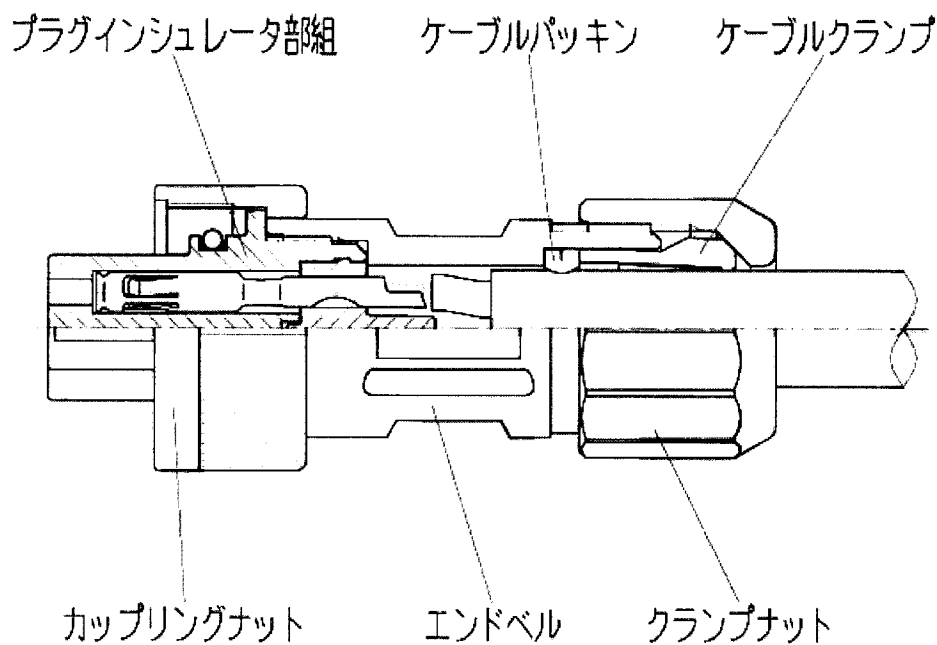


図6 プラグ組立

- ① プラグインシュレータ部組を固定し、エンドベルを回転させ締め付ける。
(右回りに回す)

(注1) 締め付けトルクは0.8~1.0[N・m]で行ってください。
プラグインシュレータ部組を回転して締め付けないこと。
(注2) 必要以上の力を加えると部品が破損する恐れがあります。

- ② ケーブルパッキン、ケーブルクランプを組み込む。
③ エンドベルを固定し、クランプナットを回転させ締め付ける。(右回りに回す)

(注1) 締め付けトルクは0.8~1.0[N・m]で行ってください。
エンドベルを回転して締め付けないこと。
(注2) 必要以上の力を加えると部品が破損する恐れがあります。
(注3) ケーブルクランプが斜めにならないように締め付けること。

NANABOSHI PDF DATA

御 参 考 用

ご注意：記載内容については、製品向上のため
予告なく変更することがありますので
ご了承下さい。

7-2. アダプタの組立

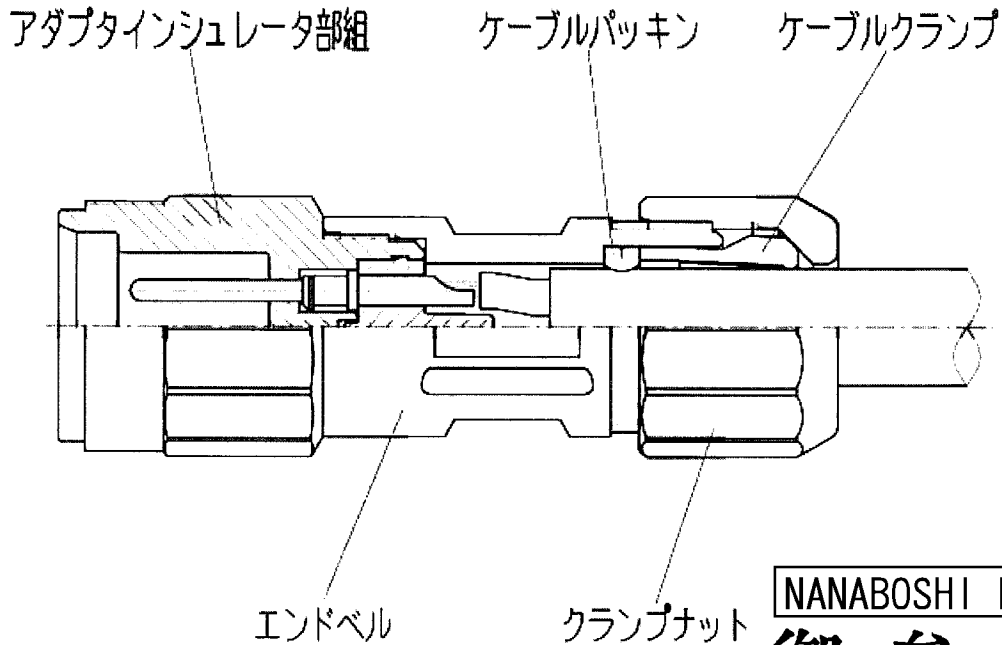


図7 アダプタ組立

NANABOSHI PDF DATA

御 参 考 用

- ① アダプタインシュレータ部組を固定し、エンドベルを回転させ締め付ける。
(右回りに回す)

(注1) 締め付けトルクは0.8～1.0[N・m]で行って下さい。
アダプタインシュレータ部組を回転して締め付けないこと。
(注2) 必要以上の力を加えると部品が破損する恐れがあります。

- ② ケーブルパッキン、ケーブルクランプを組み込む。
③ エンドベルを固定し、クランプナットを回転させ締め付ける。(右回りに回す)

(注1) 締め付けトルクは0.8～1.0[N・m]で行って下さい。
エンドベルを回転して締め付けないこと。
(注2) 必要以上の力を加えると部品が破損する恐れがあります。
(注3) ケーブルクランプが斜めにならないように締め付けること。

ご注意：記載内容については、製品向上のため
予告なく変更することがありますので
ご了承下さい。

8. キャップの使用について

キャップを使用する場合は、予備装着時にあらかじめキャップのヒモをエンドベルに通しておく。

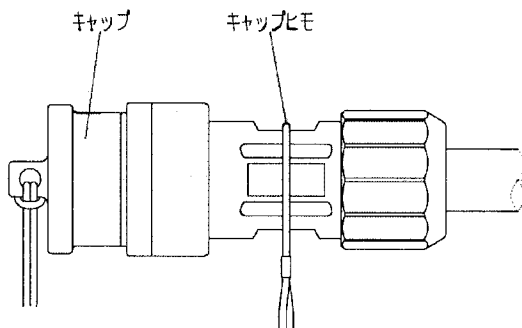
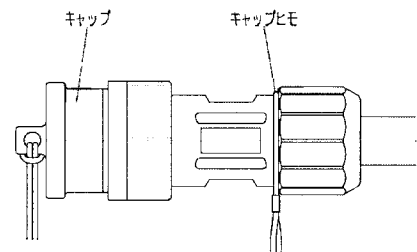


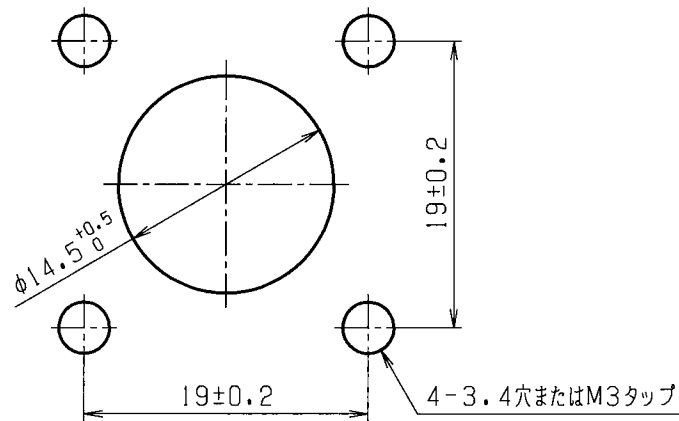
図8 キャップ使用例

(注) 下図のようにエンドベルのねじ部にキャップのヒモがかみ込まないように注意すること。



レセプタクル取付注意事項 (PLW-14)

取付パネル穴あけ寸法 (mm)



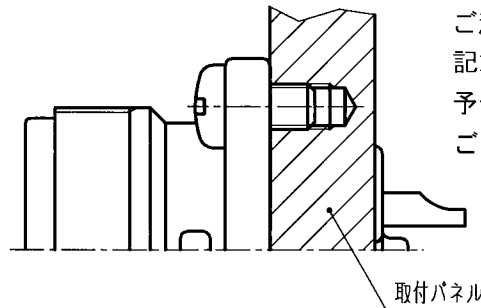
取付上の注意

防水性を確保するために、レセプタクルの取付部は下記のような処理をしてください。

1. 取付パネルに直接M3タップを切り、取付パネル表面から裏側へねじ穴が貫通しないようにして御使用下さい。

NANABOSHI PDF DATA

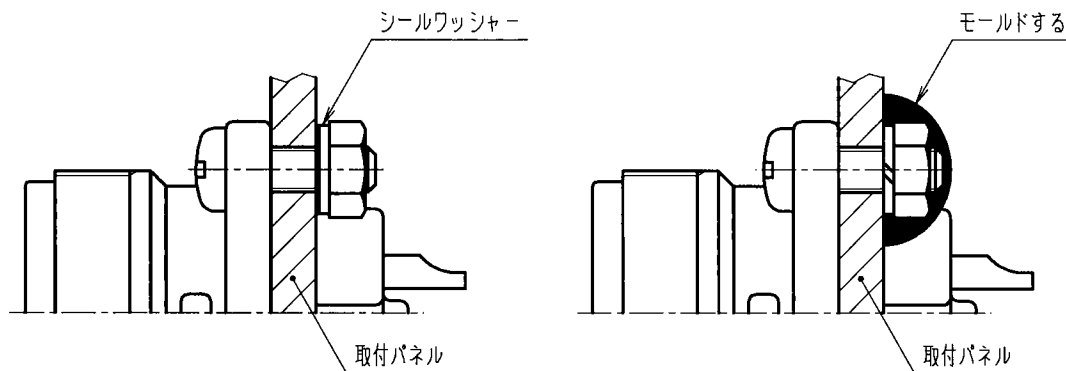
御 参 考 用



ご注意：

記載内容については、製品向上のため予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

2. 取付パネル厚が薄い（貫通する）場合は、市販のシールワッシャーを使うか、取付ナット部分を樹脂等でモールドして下さい。



- ※ 基本的にパネル内部は、防水性が確保されているものとします。
- ※ 取り付けねじの推奨トルクは0.3~0.4 (N・m) です。
- ※ 全てのねじは均等に締めて下さい。